

# 平成28年度 岩手県防災教育研修会 開催要項

## 1 趣 旨

- (1) 東日本大震災津波の教訓及び近年の自然災害の発生状況を踏まえ、管理職を対象とした学校防災の研修を通して、学校が家庭・地域と連携し、児童生徒の生命を守り抜く学校防災体制の確立を図る。
- (2) 本研修会の内容と関わる各校における研修会前後の取組を位置付けることを通して、児童生徒等が自然災害等から自分の命を守り抜く力を身に付けることができる実践的な防災教育の充実に資する。

## 2 主 催 岩手県、岩手県教育委員会

## 3 期 日 平成28年 6月15日 (水)

## 4 会 場 サンセール盛岡 (盛岡市志家町1-10) Tel 019-651-3322

## 5 対 象

- (1) 県立学校管理職1名
- (2) 教育事務所から推薦を受けた市町村立幼稚園、小・中学校(義務教育学校を含む)管理職1名  
※別紙1を参照
- (3) 上記(2)の学校を所管する市町村防災担当職員、市町村教育委員会事務局指導主事・職員
- (4) 各教育事務所担当指導主事
- (5) 参加を希望する国立、私立学校管理職

## 6 日 程

9:30	10:10	10:50	12:10	14:40	16:00	
10:00	10:20	11:00	13:10	14:50	16:10	
受付	開 会 行 事	趣 旨 説 明  (1) 講 義 (30分)	休 憩  (2) 講 演 (70分)	昼 食  (3) 演 習① (90分)	休 憩  (3) 演 習② (70分)	閉 会 行 事

## 7 研修内容及び研修講師

(1)	講 義	「災害発生時におけるリーダーの役割と実際 ～県の危機管理体制と防災危機管理監の仕事から～」 岩手県総務部総合防災室防災危機管理監 會川 雅行
(2)	講 演	「災害への危機管理～東日本大震災の教訓を踏まえて～」 講 師 岩手大学地域防災研究センター客員教授 越野 修三
(3)	演習① 「イメージトレーニング型訓練」  演習② 「自校の学校防災体制の課題と改善」	「連携による学校及び地域の防災力向上に向けて」 〈第1会場〉助言者 岩手県総務部総合防災室防災危機管理監 會川 雅行 進 行 盛岡教育事務所指導主事兼保健体育主事 細田 多聞 〈第2会場〉助言者 岩手大学教職大学院准教授 森本 晋也 進 行 学校教育室指導主事 佐々木淳一 〈第3会場〉助言者 元岩手大学地域防災研究センター教授 越野 修三 進 行 県立岩谷堂高校教諭 小野 悟

## 8 携行品

- (1) 学校安全計画 1 部
- (2) 自校の危機管理対処要領（以下、危機管理マニュアル） 2 部（1 部は演習用、1 部は提出用）
- (3) 協議用資料（持参資料 1～3） 各 8 部、持参資料の作成にあたっては、別紙 2 参照
- (4) 文部科学省「学校防災マニュアル（地震・津波災害）作成の手引き」（平成24年3月）

## 9 研修会前後の取組について

別紙 2 「研修会前後の取組について」を参照願います。

## 10 その他

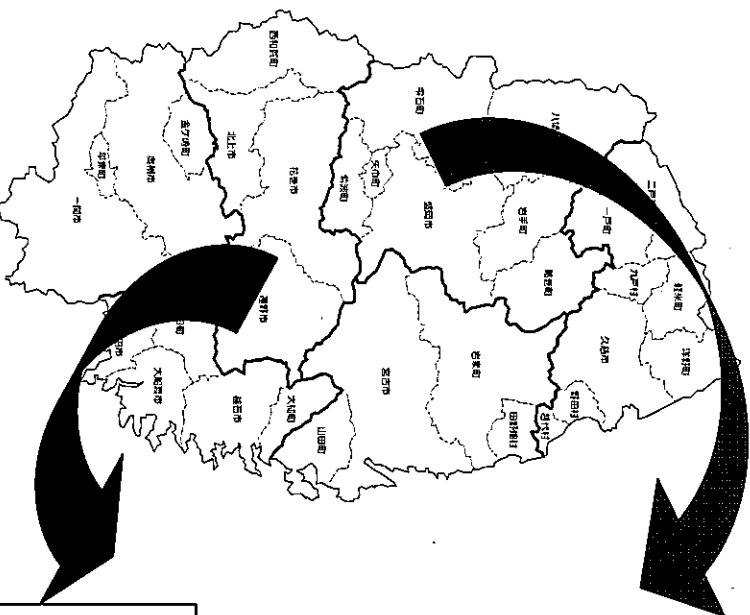
### (1) 駐車場について

会場の駐車場に限りがありますので、できるだけ乗り合いや公共交通機関の利用をお願いします。会場の駐車場が満車の際には、近隣の有料駐車場の利用をお願いします。

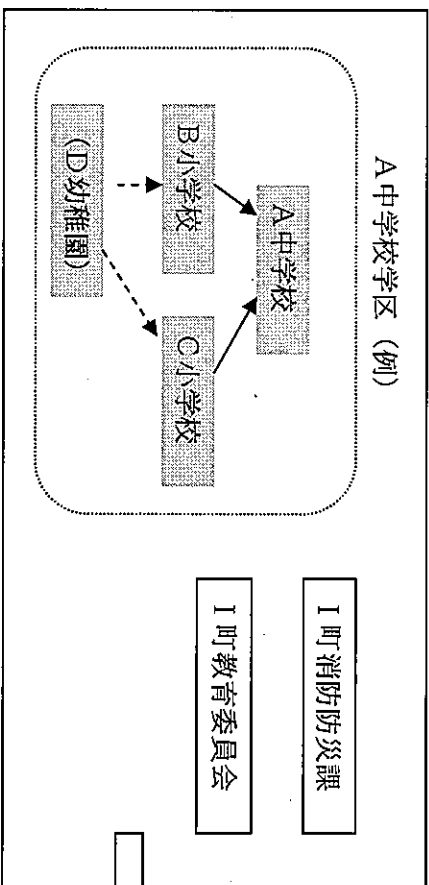
### (2) 昼食

希望する参加者に、700 円で弁当を斡旋します。事前申込のうえ、当日受付で代金をお支払いください。

次のイメージ図を参考にして、研修者を選定願います。



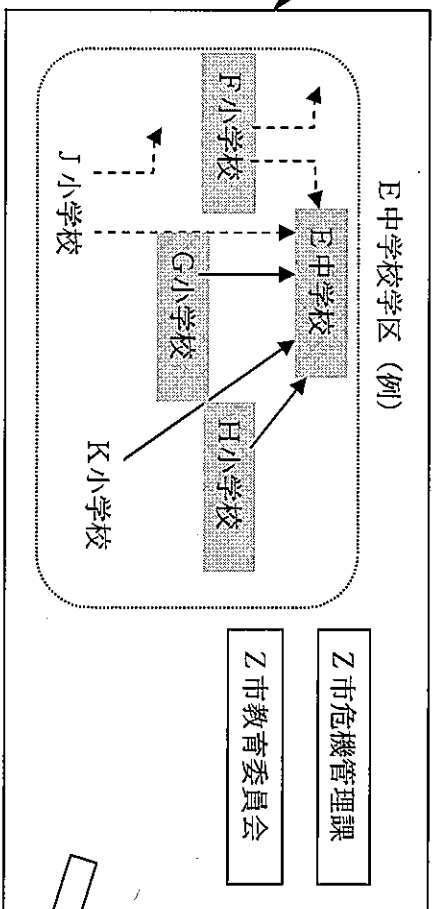
I町の場合 (例)



I町教育委員会内の一つの中学校学区を選び、その中学校区内の(D)幼稚園、B小、C小、A中の管理職が参加。

A中、B小、C小の管理職が参加。

Z市の場合 (例)



Z市教育委員会内のE中学校区では、E中学校に5つの小学校から進学している。そこで、E中、全員がE中に進学しているG小、H小と、中学校の近くにあるF小の管理職が参加。

※一つの中学校区に多くの小学校がある場合、地域の実情に合わせて研修者の参加をお願いします。

E中、F小、G小、H小の管理職が参加。

- ※ 今年度の参加対象について
- ・盛岡教育事務所—8中学校区
  - ・他の教育事務所—4中学校区

平成25年度から平成27年度までは、各市町村1中学校区からの参加としていたが、より多くの学校が参加できるようにする観点から、今年度は、これまでの3年間で本研修会に参加していない学校を対象とすることが望ましい。

## 研修会前後の取組について

### 1 研修会前の取組について

事前に、自校の危機管理マニュアルや学校の防災体制について、資料1「学校防災体制チェックシート」を活用しながら点検し、下記の持参資料を準備する。

〈持参資料について〉

- ①資料1・・・別添資料1「学校防災チェックシート」のチェック欄に記入
- ②資料2・・・上記チェックシートのチェック項目において、自校の特に優れた内容について紹介
- ③資料3・・・上記チェックシートのチェック項目において、自校の特に課題である内容について紹介

【資料2の記載例】A4 1枚程度

2016年6月15日	
資料2	県防災教育研修会資料
「優れた内容について」	
1. 保護者への引き渡しマニュアルを作成し、その訓練実施により保護者との共有化が図られている。	
2. 危険を予測した安全点検の方法の職員研修を行い、安全点検を実施している。	
<p>【参考資料】 上記内容が分かる資料を抜粋でよいので貼り付ける。</p> <p>例) 自校の危機管理マニュアルにおいて、上記の1について分かる部分を貼付する。 例) 職員会議資料から、安全点検に関する部分の抜粋と、安全点検カードを貼り付ける。</p>	

【資料3の記載例】A4 1枚程度

2016年6月15日	
資料3	県防災教育研修会資料
「課題である内容について」	
1. 避難経路を複数の設定、二次災害を想定した避難場所の設定ができていない。	
2. 学校の周辺に土砂災害の危険箇所があるが、大雨による土砂災害が発生した場合のマニュアルがない。	
3. ○○△△○○△△	
<p>【参考資料】 上記内容が分かる資料を抜粋でよいので貼り付ける。</p> <p>例) 自校の危機管理マニュアルにおいて、災害発生時に避難経路を複数設定した方がよいと思われる部分を抜粋し貼付する。 例) 自校のマニュアルの目次を貼付して、大雨災害発生時のマニュアルがないことを示す。</p>	

### 2 研修会後の取組について

(1) 研修会において明らかとなった自校の学校防災上の課題を解決するために、具体的に取り組む。

(例：危機管理マニュアルの見直し、避難訓練の方法の改善等)

(2) 取り組んだ内容を報告書にまとめ提出する。

ア 提出物：別紙報告様式（実践資料等がある場合は、提供をお願いします）

（報告様式は電子データ。実践資料等は電子データもしくはPDF）

イ 提出期日：平成28年12月末

ウ 提出先：①市町村立小中学校→所管の市町村教育委員会→所管の教育事務所→学校教育室

（教育事務所から学校教育室へは、「学校公」01【学力・復興教育担当】11岩手県防災教育研修会 報告書ファイル」に貼付願います。）

②県立学校は、後日、GWWにて提出先を通知します。

【報告様式】

研修会を受けて学校等で行った取組報告書

学校名	報告者名	職名：	氏名：
-----	------	-----	-----

実施日時	実施事項
月 日	<p>※研修会后、受講者による各学校での教職員への共有や、研修会を受けて実施した安全管理体制の構築の充実を図る取組について、記載すること。</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会を受けて、学校防災マニュアルの見直しを行った。 特に、〇〇について見直した。</li> <li>・研修会を受けて、防災訓練の見直しを行った。 特に、〇〇について見直した。</li> </ul>
月 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会において、学校防災マニュアルの周知、引き渡し訓練等の確認を行った。</li> </ul> <p>※見直したマニュアルや避難訓練実施計画等については、見直した部分を別添資料（A4 1枚程度）として添付すること。その部分については、下線を引き分けるようにしておくこと。</p> <p>地震・津波を想定した避難訓練及び引き渡し訓練を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■対象：〇〇中学校 生徒〇〇〇名、保護者〇〇名、教職員〇〇名</li> <li>■講師：県教委学校防災アドバイザー〇〇△△氏</li> <li>■実施時間（教科等）：昼休み</li> <li>■実施内容：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇</li> <li>■改善点（工夫した点など）：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇</li> </ul>